

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4372900748		
法人名	(有)八代河内石材		
事業所名	グループホーム ゃぼん		
所在地	熊本県八代市鏡町両出 1327-6 TEL 0965-52-8151		
自己評価作成日	平成29年9月15日	評価結果市町村受理日	平成29年12月14日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先 <http://search.kaigo-kouhyou-kumamoto.jp/kaigosip/Top.do>

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 NPOまい
所在地	熊本市中央区草葉町1-13-205
訪問調査日	平成29年10月7日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

広々とした敷地内に関連施設が立ち並び、ゆったりとして広いホールのウッドデッキからは庭を眺め季節の風情を感じられるようになっています。職員は入居様一人ひとりと目と目・手と手を触れ合いながら「今」を大切にの理念の基、入居者の視点に立ち「尊厳」を大事に感謝の気持ちを常に伝え合うケアに取り組んでいます。運営推進会議の中で、又、日頃からご家族とのコミュニケーションから把握できた意見要望を受け止め運営に反映し、ご家族・近隣の方の理解と協力を得ながら共に支え合えるような関係性づくりを行っています。地域の住民として今までの暮らしを継続する為日常的に健康管理を重視し口腔機能維持向上、精神的身体的機能維持に努め、親類・知人友人との交流が続けられるよう支援しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

日頃のケアについてカンファレンス等を通して密に取り組まれています。遠方の家族との交流にも電話や手紙等で尽力されています。リビングは明るく広くて安心してくつろげる空間が感じられ、利用者個々人にあった食器での食事の提供がされており、好みの付け合わせも自由にすることができるよう工夫されています。年に2名の看とりをされています。2ユニットとも記録や生活支援に工夫が見られました。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓ 該当するものに○印		項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓ 該当する項目に○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。〕

自己 外部	項目	自己評価	外部評価		
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
I.理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	入居者の方一人ひとりの今を大切に、目と目手と手の触れ合いを実践しその方本位のケアを目指している。定例会での唱和も継続し、お互いに確認合っている。	定例会(月1回)で唱和されて、日々の業務の中で、職員間での注意喚起等現場教育を意識的に行う職場風土ができています。	このまま継続されることを期待します。
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の祭りの飾り馬や子供会のモグラウの訪問を受けたり、保育園との交流慰問の受け入れを通して、またりサイクル出しや清掃作業参加などで交流の機会につなげている。	地域の行事等には積極的に参加されています。同法人の有料老人ホームの利用者との交流はできています。	サロンや畑を利用し、地域の方々との日常的な交流を事業所からの働きかけ、地位資源の掘り起こしができるといいですね。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議や家族会の中などで、認知症の方の症状や対応の仕方を説明し、ざぼんに入居しておられる方への理を深めていただいている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	ざぼんでの日常風景が分かる写真・書の掲示や行事活動・入居者職員状況・事故苦情・研修報告など行い、和やかな雰囲気の中で委員・ご家族入居者の皆様から頂いた助言・要望を運営に反映している	報告事項を中心に会議が行われています。	運営推進委員会を通して、地域サロン活動へのかけ橋をお願いされてはいかがでしょうか。日常的なボランティア活動への取り組みを期待します。
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	介護保険申請代行手続きの外、事故報告や苦情処理についての報告相談に出向いたり、電話で報告相談を行っている。生活保護の方も4名受け入れており市とは「緊密に連携をとっている。	運営推進会議への出席があり、利用者の状況報告等市町村との連携は密に出来ています。	市町村からの情報発信などが更に密にできるよう協力関係を図られることを期待します。
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	禁止となる具体的な行為を常に掲示し。職員同士で声を掛け合い見守りができる環境づくりに取り組み、本人の思いを汲み取り散歩や趣味・得意分野で気分転換を図っている	日常のケアが身体拘束になっていないか一人ひとりの利用者についてカンファをされ、一年間の事例を積み上げられました。職員の意識づけも高いようです。	基本的ケアを積み重ねられていくことで、身体拘束のみではなく精神的ケア(言葉、薬など)にも取り組まれることを期待します。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	部会等研修等参加を促し、研修報告の中で振り返りを行う事で、どんなことが虐待となりうるのかの再確認している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	現在、は2名の方が成年後見人制度を利用中 グループホーム部会等で権利擁護の研修に参加し、後見人の担当者との連携ができるように常に連絡・相談を行っている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居時や入居相談の際には契約書・重要事項説明書の説明を十分に行い、質問も受け納得頂いている。 退居の際には、転居先の相談や調整を行っている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議や家族会、面会時にはご利用者の健康状態や暮らし振りを伝え、その際に出たアイデアや意見は、その都度又はカンファレンスの際に職員間で検討し対処している。遠方のご家族には電話等で密に連絡を取り合っている。	家族会(年1～2回)が開催され、家族間の交流や事業所への意見等を受け入れられています。また、面会時やケア担当者会議などの機会を利用して、意見を聞くようにされています。	家族の高齢化が進み参加の方法や意見の取り入れ方を工夫されて、今後の参加のあり方をどのように進めていくが検討されてみるのもいいでしょう。
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月に一度定例会を開催し、各ユニット間での報告や意見交換を行い議事録に残している。また、それぞれのユニットごとに話し合いの場を設けたり、個々に不満や苦情も聞くようにしている。	定例会で業務カンファを実施し、必要時には随時解決されているとのことですが、その相談記録や検討記録は残されていませんでした。	管理者は風通しの良い組織づくりを望まれています。相談や検討記録を残されて、全職員への周知を図られるとより良い組織ができるのではないかと思います。
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員個々の労働条件を可能な限り受入れ、希望に応じた勤務体制を整えることでやりがいや、やる気を持って仕事ができるよう努めている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員の持っている能力や性格を考慮し、普段の介護業務に関するアドバイスや悩み相談を行っている。事業所外での研修は職員の能力や知りたいことを考慮し出来るだけ研修へ参加出来る様う努めている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	県や市のグループホーム部会の研修や事例検討会、食事会への参加を通して同業者との交流を意見交換の機会としサービスの質の向上へつながるよう努めている。		

自己 外部	項目	自己評価	外部評価		
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前の自宅訪問・受診同行・施設見学等でお話しをし馴染みの関係づくりをし、ご本人が困っている事や必要としている事を汲み取り、安心していただけるよう努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ざぼんでの生活についてしっかり説明を行い本人様とは別に面談しご家族様の意見・要望を話していただけるよう努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	必要としている支援の見極めは本人・ご家族の他、これまでの担当ケアマネ、主治医からの情報からグループホーム適応かその他のサービスが良いのか判断し他のサービスについても説明している。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	日々の暮らしの中で、人生の先輩からの生活の知恵を頂いたり、感謝の言葉で大家族の様に支え合える関係性を大事にしている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	来所の機会が少ない方や遠方の方は電話や手紙でご家族様の困り事や心配事を伺い、又、こちらの状況を伝え助言を頂いたりして相互に力を合わせて本人を支えていくよう努めている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族以外のご親戚や友人知人の面会はいつでも出来るよう努めている。また、家族行事(法事や墓参り、お盆・正月の帰省など)は短時間でも協力をお願いしている。馴染みの方との食事会を妹の家に集まって開催出来る様計画・立案等に関わっている。	家族の受け入れを考慮しながら、なじみの人との交流や食事会、又親戚の集い時の外泊を提案され実践されています。	外泊外出時等に家族の負担が軽くなるよう職員の付き添いなども検討されるとスムーズな支援ができることでしょう。
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	個々の性格や状況を把握し、職員が調整役となり家事やレクリエーションを通じたご利用者同士の交流の場を設け、互いに支え合える関係性づくりに努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院や他施設へ移られた場合でも、必要に応じて相談を受け支援出来るよう努めている。他施設へ移られた人を訪問したりもしている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご本人より希望や要望の相談があった場合には、ご本人の生活習慣や性格なども踏まえ一緒に考え出来るだけ意向に沿えるよう努めている。ご本人より訴えがない場合でも、ご本人の現在の行動や性格、昔の生活ぶりなどを考慮しながら、本人の立場に立って検討している。	利用者との日々の生活の関わりの中で把握に努められています。また、遠くの家族からは電話や手紙にて、思いや要望が届くこともあります。	利用者家族の思いをケアプランに生かし、職員間で周知されることが期待されます。
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時に、ご家族や担当のケアマネージャーから情報を頂いている。入居後でも、ご家族の面会時などでご家族から新たなお話が聞けることある。また、ご本人と接していくうちにご本人より情報を収集出来るよう傾聴している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	職員が勤務に入る時は、必ず挨拶や手と手を取り合い顔色を観察し前日の行動などの把握や健康管理表、ケア日誌、ケア記録からその日の心身状態を把握している。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	月に一度職員全員が利用者の把握をし、現在の状況を踏まえた話し合いが出来るよう努めている。サービス内容に変更が必要な場合はご家族への連絡・相談を行っている。また、また、すぐに対応が必要な場合はその場で職員やご家族と話し合いを行っている。	介護支援専門員を中心にアセスメント・評価など職員で対応されています。しかしケアプランの具体策などは介護支援専門員により作成されています。	介護現場の中でのアセスメント並びにケアプランに基づいての介護計画の立案をされると、内容がより充実し、職員の育成にもつながることでしょう。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日個別のケア記録へ記入、個別のファイルで管理し職員がいつでも確認できるようにしている。経過を見ながら変化があった際には必要に応じて検討し介護計画内容の見直しを行っている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	病院受診など、ご家族が不都合な際には、受診の送迎・代行を行っている。また、相談に応じて他施設へ見学等の付き添いや入居申し込みも行っている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	防災時の近隣の協力者や、運営推進会議の委員、消防・病院・訪問理美容の協力も得られている。また、近所のお店等での買い物を行い協力関係が出来ている。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人が昔からかかっていた病院や、ご本人・ご家族希望の病院への通院・往診が出来るよう努めている。また、主治医へご利用者の状況報告・相談も密に行い、必要な医療が受けられるよう努めている。受診連絡票や入院時のサマリーも作成している。	本人や家族の希望するかかりつけ医となっています。必要な時には専門医の受診も対応されています。家族が付き添い不可能な場合は職員の代行にて対応されています。	受診時は職員間の連絡を密にされると家族も更に安心されることと思われます。また、家族代行で受診した場合も家族との連絡を密にされることを期待します。
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	職員は日頃からご利用者一人ひとりの状況を把握し、必要に応じて看護師への報告・相談を行っている。看護職も的確な指示、対応をおこなっている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時はご利用者のサマリーを早急に提出し、担当医師や病棟の看護師長との連絡調整を行い、ご利用者の状態をみながら退院後のざぼんでの生活の助言を頂いている。入院中職員の面会も行い状態把握に努めている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時に終末期における生活支援についても説明し、同意所への署名をして頂いている。また、ご本人の状況の変化があった際は主治医、ご家族と話し合いの場を設け看取りについての取り決めを文章にて交わす、看取りに入った場合は、看取り体制を取る。	重度化指針や終末期看とり同意書が作成され、家族へのインフォードコンセントもなされています。年間2名の看とりが実施されています。夜間の往診が可能な医師との連携もできています。	看とり期の家族の支援の工夫をされることを期待します。(空間の確保など)
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	職員は急変時の対応手順の把握を行い、AEDの取り扱いや初期対応の訓練が出来るよう努めている。実際喉に詰めた方の対応を複数回行っている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	毎年、2回、併設施設と共同での防災訓練を行い、災害発生の想定を変えながら避難訓練を行っている。また、地域の方へも参加を呼びかけている。当日不参加でも連絡網での電話連絡の訓練を行っている。	年2回の訓練が実施されています。津波や地震の対応も明記されています。	電話連絡網だけではなく、ラインなどの活用や津波時の現実的な対策を検討されてはいいのでしょうか。

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価		
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入居者の苛立ちや不安を招いた際には、何が原因だったのかを考え対応している。声かけや介助中に不穏や拒否がみられた際には無理強いはいしないで見守り、不穏が無くなった時対応している。	トイレや浴室の位置がプライバシーを確保できる空間でした。トイレのドアやカーテンの工夫もできています。	基本的ケアの実践で、更にプライバシーの確保が実践できることを期待します	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	うまく言葉にできない方は行動や表情で思いをくみ取れるよう心掛けています。相手に寄り添った言葉で反応を見ながら対応しています。			
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	勤務体制次第では希望に添えないこともあるが、体調なども考慮しながらできるだけ個々の希望に添えるよう努めている。			
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	お化粧をされる方は希望される化粧品の購入、着替えの服を選んでもらうなどその方の趣味・好みにあったおしゃれができるように心掛けています。			
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	現在、職員の勤務体制や人数の都合で併設している厨房で食事を作っている。ご利用者からメニューの希望があった際には厨房へ相談を行って本人希望に沿った対応を行っている。おやつ作りを一緒にしたり、茶碗洗いやお盆拭きを一緒にやっている。	利用者一人一人にあった食器が提供され、食席も好みの位置が確保されています。好みの付け合わせも自由に使えるよう工夫され、食事とは別に季節の食べ物も提供されています。	メニュー表に加え、メニューボードなどで食事の演出をする工夫もいいでしょう。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個々の体重や健康状態、運動量をみながら食事量を決めている。水分摂取は時間帯にとらわれず本人のペースや希望に合わせて、必要量が摂取できるよう支援している。水分摂取は、1,000mlを目標にしている。			
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後に歯磨きの声かけを行い入居者お一人お一人の状態に合わせて実践している。。出来る方にはご自分して頂くが、最後に職員が確認を行っている。また、協力歯科と連携し、個々に合った口腔ケアやブラシの選択をしている。			

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	入居者お一人お一人の排泄パターンを見極め排泄サインを察知しながら誘導を行っている。尿意が曖昧な方も時間を見ながら誘導を行っているが、行動に出ることもある為、見落とさないように観察を行っている。日中はトイレ誘導を行いオムツの使用を減らす努力を行っている。	1ユニット4名、1ユニット2名、計6名の方がリハパンツを使用されています。2時間間隔の声かけやサインなどを見逃さず誘導されています。排泄チェック表も活用されてパターンの把握も出来ています。	個々人の排泄パターンをケアプランや援助計画に明記され、職員へ周知徹底されることを期待します。
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘傾向の方には冷たい牛乳を提供したり温湯法、肛門マッサージ、歩行運動、腹部マッサージを行っている。また、便秘が酷い方は主治医と相談し排便コントロールを行っている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	個々の性格や表情をみながら声かけを行っている。拒否があった際には無理強いせず、に時間をおいて声かけしたり、職員を変えて対応している。	週2回の入浴が来ています。沐浴剤や季節湯も提供されています。	希望される入浴ができるようにと夜間入浴を検討されていますが、入浴回数の検討も考慮されてはいかがでしょうか。
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	夜間眠りの浅い方はなるべく昼間には活動していただくが、その日の体調に合わせて昼寝などをしていただいている。休み方もそれぞれなので、ご本人に確認し、ゆっくりと過ごしていただけるよう心掛けている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個人のファイルに処方された薬の内容を綴り、職員全員がどのような薬を飲んでいるのか、何の薬なのか把握できるようにしている。症状の変化があった際には早急に主治医へ報告・相談を行っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	本人の生活歴などから好みを把握しそれぞれの得意分野で活躍出来るような場面作りをしている、行事計画も利用者を巻き込み楽しく参加出来る様工夫している。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	敷地内の散歩や町内ドライブ、買い物をやっている。また、ご家族に依頼して病院受診後や家族行事の際には外出が出来るよう依頼している。希望があれば墓参りも行っている。	ドライブ等の定期的な外出や四季の行事外出は行われていますが、日常的な外出は少ないようです。	近くの商店への買い物や農道の散歩等、周りの環境を生かした日常的な外出の支援を期待します。

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご本人やご家族が希望される方には少額の現金を持っていたいという方がほとんどの方は、ご家族様から小口現金として預かり、金庫に保管し外出時嗜好品の購入やざぼんに販売に来られるパン屋さんのパン購入などに対応している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	手紙はなかなか書かれていないが、希望された際にはご家族と電話で談話して頂いている。また、ご家族より電話があった際には電話を替わり話していただいている。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節を感じて頂けるよう飾りつけを行っている。また、風を取り込むことで肌で季節を感じて頂いている。午後になるとウッドデッキからの日差しが強く、カーテンをするなどし対応している。	明るく広く、リビングやキッチンが職員の動線の一体感があり安心してくつろげる空間が出来ています。	同じ空間や飾り付けがなされているのに2つのユニットの雰囲気の違いがあるように感じます。それがなぜなのか、原因をさぐってみるのもいいでしょう。
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	玄関や各所に座れる場所を設置している。ホールは広く開放的であるが、食卓・椅子の配置がある為、その時の状況により椅子やテーブルを移動している。ソファもホール内に2ヶ所有り寝たり座って話し合いの場所になったりする。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご家族やご本人と話しながら写真を飾ったり、昔から使っていた家具を持ち込んでいただき、安心してゆったりと過ごしていただけるよう心掛けている。	各部屋は思い出の写真が飾られており、家族の持ち込みの品物等がいつでも触られるように配置されていました。	個々人の好みを活かすことがどのようなことなのか、スタッフ間で話し合ってみるのもいいでしょう。
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	入居者の心身の状況や変化に合わせて家具・ベッドなどの移動を行っている。普段、車いすの方でも移乗の出来る方は食事などの際には椅子への移乗をして頂いている。		